



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月28日

上場会社名 株式会社モリタホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6455 URL <https://www.morita119.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 金岡 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 村井 信也 (TEL) 06-6208-1910  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	28,156	4.2	702	125.3	864	37.0	363	38.5
2022年3月期第2四半期	27,011	△4.1	311	△61.5	631	△38.0	262	△48.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 468百万円(△70.8%) 2022年3月期第2四半期 1,603百万円(△4.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	8.25	—
2022年3月期第2四半期	5.76	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	121,186	81,071	66.1
2022年3月期	125,167	81,906	64.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 80,116百万円 2022年3月期 80,947百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2023年3月期	—	20.00			
2023年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では「未定」といたします。連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため記載しておりません。詳細は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	46,918,542株	2022年3月期	46,918,542株
2023年3月期2Q	3,111,356株	2022年3月期	2,817,506株
2023年3月期2Q	44,038,676株	2022年3月期2Q	45,494,644株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円安や材料価格の高騰、半導体の供給不足など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境に加え、当社グループにおきましては、消防車輛事業及び環境車輛事業においてシャシ（車台）の供給時期が不安定な中、生産の効率化に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は54,806百万円（前年同四半期比4,942百万円増、9.9%増）、売上高は28,156百万円（前年同四半期比1,144百万円増、4.2%増）となりました。損益につきましては、営業利益は702百万円（前年同四半期比390百万円増、125.3%増）、経常利益は864百万円（前年同四半期比233百万円増、37.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は363百万円（前年同四半期比100百万円増、38.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①消防車輛

消防車輛事業は、主に国内でシャシ（車台）供給時期の不透明な状況が続き売上は低調なものの、海外売上が堅調に推移し、売上高は12,487百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

#### ②防災

防災事業は、主に消火器の売上が堅調に推移し、売上高は8,398百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

#### ③産業機械

産業機械事業は、製品の売上が堅調に推移し、売上高は2,790百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

#### ④環境車輛

環境車輛事業は、シャシ（車台）供給遅延に伴う生産への影響により、売上高は4,479百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。

当社グループの売上高及び利益は、消防車輛事業の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、第4四半期に集中する傾向にあります。なお、2023年3月期におきましては、消防車輛事業及び環境車輛事業において受注の状況は堅調であるものの、シャシ（車台）の供給時期が不透明であることから合理的な業績予想の算定が困難な状況であります。

### (2) 財政状態に関する説明

（財政状態の分析）

当第2四半期連結会計期間の総資産は121,186百万円（前連結会計年度末比3,981百万円の減少）となりました。

流動資産は、68,386百万円となり3,243百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が4,299百万円、受取手形及び売掛金が8,896百万円減少した一方で、棚卸資産が8,646百万円増加したことによるものです。

固定資産は、52,799百万円となり738百万円減少しました。うち有形固定資産は、32,683百万円となり504百万円増加し、投資その他の資産は、17,443百万円となり1,243百万円減少しました。

流動負債は、30,555百万円となり2,563百万円減少しました。これは主に、電子記録債務が1,475百万円、未払法人税等が1,330百万円減少したことによるものです。

固定負債は、9,559百万円となり583百万円減少しました。

純資産は、81,071百万円となり834百万円減少しました。これは主に、剰余金の配当926百万円、その他有価証券評価差額金が1,059百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が1,196百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.7%から66.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4,443百万円減少の24,688百万円となりました。なお、当四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,329百万円の支出（前年同四半期は2,291百万円の収入）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額8,249百万円、仕入債務の減少額2,658百万円、法人税等の支払額2,119百万円で資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益895百万円の計上、売上債権の減少額10,641百万円で資金が増加したことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、977百万円の支出（前年同四半期は636百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出867百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,179百万円の支出（前年同四半期は803百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出408百万円、自己株式の取得による支出575百万円、配当金の支払額925百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、消防車両事業及び環境車両事業においてシャシ(車台)の供給時期が不透明であり、現時点では合理的な業績予想の算定が困難であるため、連結業績予想を未定としております。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,276	24,976
受取手形及び売掛金	22,406	13,510
電子記録債権	1,812	1,948
商品及び製品	3,512	4,277
仕掛品	7,770	13,673
原材料及び貯蔵品	5,608	7,587
その他	1,457	2,488
貸倒引当金	△216	△76
流動資産合計	71,629	68,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,137	9,941
機械装置及び運搬具（純額）	2,406	2,309
土地	18,468	18,753
建設仮勘定	254	786
その他（純額）	912	893
有形固定資産合計	32,179	32,683
無形固定資産		
のれん	1,820	1,744
その他	852	928
無形固定資産合計	2,672	2,673
投資その他の資産		
投資有価証券	12,879	11,157
退職給付に係る資産	1,517	1,518
その他	4,906	4,854
貸倒引当金	△616	△87
投資その他の資産合計	18,686	17,443
固定資産合計	53,538	52,799
資産合計	125,167	121,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,601	7,543
電子記録債務	7,827	6,351
短期借入金	954	859
1年内返済予定の長期借入金	5,316	4,907
未払法人税等	2,005	675
賞与引当金	1,161	1,142
役員賞与引当金	119	36
製品保証引当金	491	469
リコール関連引当金	179	154
その他	6,460	8,413
流動負債合計	33,118	30,555
固定負債		
長期借入金	54	62
退職給付に係る負債	4,075	4,068
役員退職慰労引当金	11	12
その他	6,002	5,416
固定負債合計	10,143	9,559
負債合計	43,261	40,114
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	5,048	5,080
利益剰余金	71,099	70,536
自己株式	△3,042	△3,450
株主資本合計	77,851	76,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,319	4,260
繰延ヘッジ損益	11	△15
土地再評価差額金	△2,600	△2,600
為替換算調整勘定	321	1,518
退職給付に係る調整累計額	44	41
その他の包括利益累計額合計	3,095	3,203
非支配株主持分	959	954
純資産合計	81,906	81,071
負債純資産合計	125,167	121,186

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	27,011	28,156
売上原価	19,810	20,540
売上総利益	7,201	7,615
販売費及び一般管理費	6,889	6,913
営業利益	311	702
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	89	107
受取賃貸料	41	44
その他	307	144
営業外収益合計	441	298
営業外費用		
支払利息	28	31
賃貸費用	5	5
為替差損	27	25
持分法による投資損失	42	35
その他	18	37
営業外費用合計	121	136
経常利益	631	864
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	1	31
会員権売却益	0	—
特別利益合計	2	36
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
関係会社株式評価損	—	4
特別損失合計	1	5
税金等調整前四半期純利益	632	895
法人税等	354	532
四半期純利益	278	362
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	262	363

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	278	362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	760	△1,061
繰延ヘッジ損益	△3	△26
為替換算調整勘定	426	935
退職給付に係る調整額	9	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	132	261
その他の包括利益合計	1,325	105
四半期包括利益	1,603	468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,588	471
非支配株主に係る四半期包括利益	15	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	632	895
減価償却費	928	930
のれん償却額	226	234
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	79	△0
リコール関連引当金の増減額 (△は減少)	—	△25
受取利息及び受取配当金	△92	△109
支払利息	28	31
持分法による投資損益 (△は益)	42	35
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1	△3
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△31
売上債権の増減額 (△は増加)	15,062	10,641
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,826	△8,249
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,200	△2,658
その他	△1,616	△983
小計	4,264	707
利息及び配当金の受取額	93	113
利息の支払額	△28	△31
法人税等の支払額	△2,038	△2,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,291	△1,329
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△327	△867
有形固定資産の売却による収入	93	16
無形固定資産の取得による支出	△93	△178
投資有価証券の売却による収入	2	127
貸付けによる支出	△190	△21
貸付金の回収による収入	0	89
その他	△120	△143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△636	△977
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	552	△175
長期借入金の返済による支出	△408	△408
自己株式の取得による支出	—	△575
配当金の支払額	△862	△925
非支配株主への配当金の支払額	△3	△2
その他	△82	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△803	△2,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	883	△4,443
現金及び現金同等物の期首残高	22,839	29,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,723	24,688

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

## (セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,910	8,058	2,411	4,620	27,001
その他の収益	—	—	—	10	10
外部顧客への売上高	11,910	8,058	2,411	4,630	27,011
セグメント間の内部売上高又は振替高	68	101	3	100	273
計	11,979	8,159	2,415	4,731	27,285
セグメント利益又は損失(△)	△506	183	317	317	311

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	311
セグメント間取引消去	2
棚卸資産の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	311

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	12,487	8,398	2,790	4,476	28,152
その他の収益	—	—	—	3	3
外部顧客への売上高	12,487	8,398	2,790	4,479	28,156
セグメント間の内部売上高又は振替高	89	119	3	79	292
計	12,576	8,518	2,794	4,559	28,448
セグメント利益又は損失(△)	△344	561	314	164	696

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	696
セグメント間取引消去	2
棚卸資産の調整額	4
四半期連結損益計算書の営業利益	702

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車両	18,708	△1.2
防災	8,224	+16.5
産業機械	2,831	+12.2
環境車両	4,555	△11.0
合計	34,319	+2.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、販売価格で表示しております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車両	40,712	+10.0	43,207	+11.2
防災	4,818	+17.6	6,741	+27.1
産業機械	3,079	+3.0	4,838	+44.4
環境車両	6,195	+7.5	7,754	+40.2
合計	54,806	+9.9	62,541	+17.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、販売価格で表示しております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 4 防災事業の防災機器部門は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

## 3 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車両	12,487	+4.8
防災	8,398	+4.2
産業機械	2,790	+15.7
環境車両	4,479	△3.3
合計	28,156	+4.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。